



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社松屋アールアンドディ 上場取引所 東
コード番号 7317 URL <https://matsuyard.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 後藤秀隆
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO経営管理部長 (氏名) 松川浩一 (TEL) 0779-66-2096(代表)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,273	18.0	488	116.0	480	125.4	344	175.3
2024年3月期第1四半期	1,926	34.3	226	124.6	213	21.5	125	12.3

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 470百万円(48.1%) 2024年3月期第1四半期 317百万円(△3.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	16.21	16.02
2024年3月期第1四半期	5.92	5.86

(注) 当社は2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」は、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	10,336	5,615	54.3
2024年3月期	9,922	5,193	52.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 5,615百万円 2024年3月期 5,193百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,000	6.7	1,539	19.9	1,527	16.8	1,203	26.2	56.87

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- （1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	21,244,000株	2024年3月期	21,223,200株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	712株	2024年3月期	712株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	21,234,839株	2024年3月期1Q	21,132,378株

（注）当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行いました。「期末発行済株式数」「期末自己株式数」および「期中平均株式数」は前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財状状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や旺盛なインバウンド需要に支えられ緩やかな回復の動きがみられました。一方、円安の進行やウクライナ・中東情勢の不安に起因する原材料・エネルギー価格の高止まりや物価上昇の影響により実質賃金が減少しており、国内金利の上昇も顕在化するなど先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、メディカルヘルスケア事業における血圧計腕帯では、受注数量が月によって大きく増減したものの、前期に完成したベトナム新工場の投資効果のほか、自社での自動化ノウハウを結集し、工程内の自動化に取り組んだことでコストを抑制することができました。

セイフティシステム事業における縫製自動機では、前期に引き続きインドのエアバッグメーカー向けの販売が好調に推移し、縫製用門型ミシンなどの自動機を納入するとともに、新たにエアバッグ縫製自動ラインやレーザー裁断機を受注しました。また4月にはフランクフルト（ドイツ）において開催されたTEXPROCESS展示会へ縫製自動機を出展したほか、メキシコ支店の開設にむけた準備を進めてまいりました。

カーシート・エアバッグでは、特にカーシートにおいてベトナムでの新規取引による生産数量が増加しました。

リハビリロボット関連では日本リハビリテーション医学会においてリハビリロボット「LunaEMG」を出展したほか、本格販売に向けたメンテナンス手順書の作成や機器管理体制の構築などの活動を進めてまいりました。そのほか、米国においてドローン用エアバッグの特許を取得しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,273,541千円（前年同期比18.0%増）、営業利益488,759千円（前年同期比116.0%増）、経常利益480,094千円（前年同期比125.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は344,256千円（前年同期比175.3%増）となり、第1四半期連結累計期間において営業利益以下前年同期比で2倍以上の増加となり、売上・利益共に過去最高となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の概況は、次のとおりであります。

(メディカルヘルスケア事業)

メディカルヘルスケア事業につきましては、4月及び5月は顧客の在庫調整により一時的に受注数量が減少したものの、6月以降は受注数量が回復しております。また、ベトナム新工場稼働による投資効果のほか、工程自動化の推進によりコストダウンを図れたことから増益となりました。

以上の結果、売上高は1,291,150千円（前年同期比1.7%減）、セグメント利益は381,045千円（前年同期比33.3%増）となりました。

(セイフティシステム事業)

セイフティシステム事業につきましては、連結子会社のベトナム新工場において、特にカーシートの生産が好調に推移し増収増益となりました。また、海外顧客からの新規設備需要が増加したことによりレーザー裁断機をはじめとする各種製品の大口受注により売上が増加しました。

以上の結果、売上高は940,237千円（前年同期比56.0%増）、セグメント利益は175,580千円（前年同期比997.6%増）となりました。

(その他事業)

その他事業につきましては、売上高は42,154千円（前年同期比330.0%増）、セグメント利益は14,304千円（前年同期比3,038.4%増）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べて385,916千円増加し、7,358,946千円となりました。これは主として受取手形、売掛金及び契約資産が55,992千円、商品及び製品が134,962千円、原材料及び貯蔵品が65,658千円がそれぞれ減少したことに対して、現金及び預金が584,874千円、仕掛品が47,715千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて27,944千円増加し、2,977,560千円となりました。これは主として建物及び構築物が15,990千円、土地使用権が8,630千円それぞれ増加したことなどによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて413,861千円増加し、10,336,506千円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べて24,782千円減少し、2,776,475千円となりました。これは主として短期借入金40,000千円、賞与引当金25,780千円、未払法人税等18,592千円それぞれ増加したことなどに対して、支払手形及び買掛金26,730千円、未払金74,414千円それぞれ減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて16,915千円増加し、1,944,661千円となりました。これは主としてその他固定負債が18,155千円減少したことに対して、繰延税金負債が38,354千円増加したことなどによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて7,866千円減少し、4,721,136千円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,615,369千円と、前連結会計年度末に比べて421,728千円増加となりました。これは利益剰余金の配当により53,056千円減少したものの、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ2,215千円、為替換算調整勘定が126,097千円増加したこと、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益を344,256千円計上したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の52.3%から54.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月15日付で「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益は、当第1四半期連結会計期間末現在、業績は予定を上回って進捗しておりますが、今後の見通しについて顧客からの受注動向や事業環境等を含め精査しており、結果によって業績予想の変更が必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,250,519	2,835,394
受取手形、売掛金及び契約資産	1,734,369	1,678,376
電子記録債権	—	11,038
商品及び製品	862,568	727,606
仕掛品	369,121	416,837
原材料及び貯蔵品	1,482,040	1,416,382
その他	274,408	273,309
流動資産合計	6,973,029	7,358,946
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,484,115	1,500,105
機械装置及び運搬具（純額）	165,124	167,753
土地	122,240	125,021
使用権資産（純額）	45,455	41,571
建設仮勘定	9,402	7,890
その他（純額）	152,666	145,651
有形固定資産合計	1,979,003	1,987,994
無形固定資産		
土地使用権	937,132	945,762
その他	9,022	8,384
無形固定資産合計	946,154	954,146
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,902	14,232
その他	18,554	21,185
投資その他の資産合計	24,456	35,418
固定資産合計	2,949,615	2,977,560
資産合計	9,922,644	10,336,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	503,065	476,334
電子記録債務	106,452	103,574
短期借入金	1,060,000	1,100,000
1年内返済予定の長期借入金	120,410	119,650
未払金	739,565	665,151
未払法人税等	100,585	119,178
賞与引当金	41,244	67,024
その他	129,934	125,561
流動負債合計	2,801,257	2,776,475
固定負債		
長期借入金	1,474,000	1,473,000
退職給付に係る負債	137,273	134,990
繰延税金負債	55,464	93,819
その他	261,007	242,851
固定負債合計	1,927,746	1,944,661
負債合計	4,729,003	4,721,136
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,488	23,703
資本剰余金	511,385	513,600
利益剰余金	3,994,994	4,286,194
自己株式	△479	△479
株主資本合計	4,527,388	4,823,019
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	666,252	792,350
その他の包括利益累計額合計	666,252	792,350
純資産合計	5,193,641	5,615,369
負債純資産合計	9,922,644	10,336,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	1,926,314	2,273,541
売上原価	1,462,544	1,513,225
売上総利益	463,770	760,315
販売費及び一般管理費	237,484	271,556
営業利益	226,285	488,759
営業外収益		
受取利息	1,520	68
受取配当金	0	0
受取保険金	—	688
固定資産売却益	—	555
その他	556	874
営業外収益合計	2,076	2,187
営業外費用		
支払利息	9,360	6,577
為替差損	5,570	3,669
その他	401	604
営業外費用合計	15,332	10,851
経常利益	213,030	480,094
税金等調整前四半期純利益	213,030	480,094
法人税、住民税及び事業税	49,148	105,822
法人税等調整額	38,844	30,015
法人税等合計	87,992	135,838
四半期純利益	125,037	344,256
親会社株主に帰属する四半期純利益	125,037	344,256

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	125,037	344,256
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	192,476	126,097
その他の包括利益合計	192,476	126,097
四半期包括利益	317,513	470,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	317,513	470,354

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,313,632	602,877	9,804	1,926,314	—	1,926,314
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,313,632	602,877	9,804	1,926,314	—	1,926,314
セグメント利益	285,904	15,997	455	302,357	△76,071	226,285

(注) 1. セグメント利益の調整額△76,071千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディカル ヘルスケア	セイフティ システム	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,291,150	940,237	42,154	2,273,541	—	2,273,541
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,291,150	940,237	42,154	2,273,541	—	2,273,541
セグメント利益	381,045	175,580	14,304	570,931	△82,171	488,759

(注) 1. セグメント利益の調整額△82,171千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	76,191千円	47,705千円